

事前に必ずご一読下さい

お客様各位

在宅ケアマネジメント基本システムに搭載されたAI予測機能について

この度は、弊社「ほのぼの」シリーズソフトウェア ほのぼのNEXT 在宅ケアマネジメント基本システム(以下、本システムといいます)をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

本書では、本システムに新たに搭載されましたAI予測機能(以下、本機能といいます)についてご案内申し上げます。

本機能は、株式会社シーディーアイが提供するケアマネジメント支援サービス「SOIN(そわん)」(以下、SOINといいます)のAIエンジンを活用した機能で、お客様が本システムに入力したお客様サービスのご利用者様(以下、ご利用者様といいます)に関するアセスメント情報(要介護認定項目)を基に、SOINが予測した当該ご利用者様に対する推奨サービスプランと当該推奨サービスプランを実施した場合のご利用者様の状態の将来変化に関する情報を本システム上でお客様に提供する機能です。簡易な操作(次ページ参照)でご利用できる機能ですので、お客様のサービス品質向上にお役立て頂きたく存じます。

なお、お客様は本機能を初回ご利用される時(次ページ参照。「AI予測」ボタンを押した時)に、次の2点へご同意頂いたものと見なされます。

- ① 本システムからSOINのサービス提供設備にご利用者様の要介護認定項目情報がインターネットを経由して送信されること(但し、SOINのサービス提供設備にご利用者様の要介護認定項目情報は保存されず、AI判定の計算処理をいたします)
- ② SOINは、本書末尾に添付された『自立支援型ケアマネジメント支援サービス SOIN(そわん) ほのぼのNEXT 連携版 利用規約』(以下、SOIN利用規約といいます)に規定のサービス利用条件の内容に従って、株式会社シーディーアイから提供されること

従って、お客様が本機能をご利用になる前に、本機能の性質及びサービス利用条件の内容を十分にご確認下さいますよう、お願い申し上げます。

(令和2年12月7日制定)

山形県南陽市和田3369番地
エヌ・デーソフトウェア株式会社

(AI予測機能のご利用方法)

本システム上の「認定調査」又は「アセスメント」画面から「AI予測」ボタンを押すことにより、ご利用可能です。なお、「AI予測」ボタンを押さない限り、本システムからSOINにデータが送信されることはありません。

[認定調査画面から]

The screenshot shows the '認定調査' (Certification Survey) screen. The 'AI予測' (AI Prediction) button is located in the top right corner of the main form area, highlighted with a red box. A red arrow points to it from the text 'AI予測ボタン'.

[アセスメント画面から]

The screenshot shows the 'アセスメント' (Assessment) screen. The 'AI予測' (AI Prediction) button is located in the top right corner of the main form area, highlighted with a red box. A red arrow points to it from the text 'AI予測ボタン'.

S O I N

（ほのぼの NEXT 連携版）

利 用 規 約

Ver.23.01

利用規約

この利用規約（以下、「本規約」といいます。）は、株式会社シーディーアイ（以下、「当社」といいます。）が提供する本サービスの利用条件を定めるものです。

利用契約の成立により、利用企業は当社に対して本サービスの実施を委託し、当社はこれを受託したものとします。

第1条（用語の定義）

本規約において、以下の用語は、以下の意味を有するものとします。

1. 「AI」とは、Artificial Intelligence（人工知能）をいいます。
2. 「連携対象ソフトウェア」とは、エヌ・デーソフトウェア株式会社が有償で提供する「ほのぼの」シリーズ 介護保険対応版「ほのぼの NEXT」の在宅ケアマネジメント基本システムをいいます。
3. 「本サービス」とは、介護保険サービスのデータ及び本サービス提供中に取得をしたデータを学習した AI を利用して、ケアプラン作成業務を支援するサービス SOIN（そわん）をいいます。尚、本サービスは連携対象ソフトウェアに搭載された呼び出し機能を通じて、連携対象ソフトウェアと連携したユーザインターフェース（結果出力方法）により提供されるサービスであり、当社が別途有償提供する一般提供版の SOIN とは異なるものとします。
4. 「利用契約」とは、本規約の同意を前提に締結する本サービスの契約をいいます。
5. 「利用企業」とは、本サービス機能を装備した連携対象ソフトウェアの利用契約をエヌ・デーソフトウェア株式会社と締結し、本サービスの利用に同意した企業（法的形態を問いません。）をいいます。
6. 「利用者」とは、利用企業が本サービスを利用することを認めた者をいいます。
7. 「被保険者」とは、利用企業の顧客であり、利用者が担当する介護サービスを必要としている介護保険を利用する者をいいます。

第2条（適用）

本規約は、当社が本サービスを提供するにあたり、当社と利用企業及び利用者との間で、適用されます。

第3条（本規約への同意）

1. 利用企業は、本サービスへ初回にアクセスする際、本規約に同意したものとみなされます。
2. 利用企業は、本規約の同意を以って、本規約の徹底と遵守の義務を負うものとします。
3. 利用企業は、利用者に本規約の徹底及び遵守を含め、本サービスの利用に関し自己が負うのと同等の義務を遵守させるものとし、利用者が本規約に違反する行為を行った場合は利用企業が当該行為を行ったものとみなします。

第4条（本規約の変更）

1. 当社は、必要と判断した場合には、いつでも本規約を変更することができるものとします。
2. 本規約を変更する場合は、変更が軽微な場合を除き、変更の内容及び効力発生時期を明示し、その効力発生日の相当期間前までに利用企業及び利用者への郵送による送付または電子メールの送信、当社ホームページへの掲示、その他当社が適切と認める方法により、利用企業及び利用者に事前に通知を行うものとします

第5条（本サービスの利用条件）

1. 当社は、本サービスにおける動作条件等の利用方法について、別途利用企業に提示します。
2. 利用企業及び利用者は、自らの費用と責任において、本サービスに必要な設備、環境を用意し、適切に本サービスへ接続し、操作するものとします。また、当社は、利用企業及び利用者の設備、環境について、一切の責任を負いません。
3. 当社は、エヌ・デーソフトウェア株式会社から連携対象ソフトウェアの使用を許諾された利用企業及び利用者が、連携対象ソフトウェアに搭載された呼び出し機

能を通じて本サービスにアクセスする態様で、第6条に定める利用契約の有効期間において、本サービスを利用することを許諾します。利用企業及び利用者は、別途当社から許諾された場合を除き、その他の方法で本サービスを利用してはならないものとします。

第6条（利用契約）

1. 本サービスの利用契約は、利用企業または利用者が本サービスへ初回にアクセスしたときに成立するものとします。
2. 本サービスの利用契約は、エヌ・デーソフトウェア株式会社が利用企業に対して許諾した連携対象ソフトウェアの使用権が終了する時点をもって同時に終了します。お客様はかかる連携対象ソフトウェアの使用権が終了した後は、本サービスを使用することができないものとします。

第7条（委託）

1. 利用企業及び利用者は、当社が本サービスを提供する為に必要となる利用者情報、被保険者情報のデータ保管、情報処理等、本サービスに関する業務を、本規約に定める利用目的の為に、第三者に委託することがあることに、あらかじめ同意をするものとします。
2. 当社は、委託先に、当社と同等の安全管理措置の実施を義務付け、適切にデータを管理されていることについて、監督を行います。

第8条（アクセス資格の管理）

1. 当社は、利用企業及び利用者が本サービスにアクセスする際、連携対象ソフトウェアが内部生成する情報に基づき、利用企業及び利用者を適切に認証するものとします。
2. 利用企業及び利用者は、自己以外の第三者（当社に登録されたユーザを含みます。以下同じ。）に対して、自己に使用権が帰属する連携対象ソフトウェアを通じて本サービスを利用させてはならないものとします。
3. 当社は、連携対象ソフトウェアの管理について一切の責任を負わないものとします。

4. 当社は、利用企業または利用者に使用権が帰属する連携対象ソフトウェアを通じてなされた本サービスの利用の全ては、利用企業または利用者の利用とみなします。
5. 当社は、利用企業または利用者に使用権が帰属する連携対象ソフトウェアを通じて、第三者が本サービスを利用したことにより生じる損害について、当社の故意または重過失による場合を除き、一切の責任を負わないものとします。

第9条（利用者に関する個人情報の取得と利用目的）

1. 利用目的

当社は、本サービスの利用にあたり、当社が本サービスを通じて取得した利用者の個人情報について、下記の利用を行うことができます。

- （1）本サービスを提供する為に、利用者の氏名、所属企業、メールアドレス等の個人情報を使用することができます。
- （2）本サービスで取得した個人情報を、本サービスの提供、機能追加、機能改善、本サービスで使用する AI の学習等の為に使用することができます。
- （3）本サービスで取得した情報を元に、特定の個人との対応関係を排斥して統計情報の作成を行い、レポートの作成及び対外的な発表に使用することができます。
- （4）本サービスで取得した個人情報は、本サービスの提供、機能追加、機能改善、本サービスで使用する AI の学習等の為に、他の事業者へ個人情報の取扱いを委託することができます。その場合は、個人情報保護体制が整備された委託先を選定するとともに、個人情報保護に関する契約を締結いたします。
- （5）当社は、（1）～（4）以外の目的で、利用企業または利用者により送信された個人情報を一切利用しません。

第10条（被保険者に関する個人情報の取得と利用目的）

1. 利用目的及びその明示等

本サービスの利用にあたり、利用企業または利用者は、被保険者から個人情報を取得するときに、以下の利用目的が含まれる利用目的を明示するものとします。

- （1）本サービスを利用する為に、被保険者の氏名、生年月日、被保険者番号等の個人情報と、状態等（要介護認定調査、主治医意見書等）の要配慮個人情報を当社に提供します。
- （2）当社が、利用企業または利用者が入力した個人情報（要配慮個人情報を含みます。以下本条において同じです。）を、本サービス提供と機能追加、機能改善、本サービスで使用する AI の学習、利用企業及び利用者への情報提供等の為に使用することができます。
- （3）当社が、本サービスにおいて取得した情報を元に、特定の個人との対応関係を排斥して統計情報の作成を行い、レポートの作成及び対外的な発表を行う為に使用することができます。
- （4）当社が本サービスで取得した個人情報は、本サービスの提供、機能追加、機能改善、本サービスで使用する AI の学習、利用企業及び利用者への情報提供等の為に、第三者にその取扱いを委託することができます。
- （5）当社は、（1）～（4）以外の目的で、送信された個人情報を一切利用しません。

2. 個人情報の取得

本サービスの利用にあたり、利用企業または利用者は、被保険者の個人情報を取得するときに、本条第1項の利用目的を当該被保険者にあらかじめ明示した上で、適正に当該情報を取得するものとします。

3. 免責

利用企業または利用者による本条第1項に基づく被保険者への利用目的の明示または本条第2項に基づく被保険者の同意取得に瑕疵または欠缺があったことにより発生する損害及び請求については、利用企業または利用者が一切の責任を負い、当社は責任を負わないものとします。

第 1 1 条（個人情報の保護）

1. 利用企業及び利用者は、本サービスへ初回にアクセスした時点で当社の個人情報の適正な取扱いに関する基本方針に同意したものとします。
2. 当社は、本サービスの提供に当たり、被保険者の個人情報を、個人情報の保護に関する法令及びガイドラインに従い、適切に取り扱うものとします。
3. 利用企業は、当社または当社の委託先による被保険者の個人情報の取扱いについて合理的な疑義が生じた場合（被保険者からの申し出があり、確認の必要があると考えられる場合を含みます。）、当社に対し、必要な範囲で説明を求めるとともに、必要に応じて改善を求めることができるものとします。
4. 当社は、利用企業への本サービスの提供が終了した場合、当該利用企業から受領した被保険者の個人情報を廃棄または削除するものとします。

第 1 2 条（情報に関する当社の責任）

当社は、本規約第 9 条、第 1 0 条に定める各情報を管理者としての責任を以って、保管をいたします。ただし、以下の各号に定める事由に起因して情報が消失、紛失、漏洩、破損等した場合には、当社はこれにより利用企業または利用者、被保険者、第三者に発生した損害につき一切の責任を負わないものとします。

- （1）火災、停電、天災、戦争、テロ、疫病、労働争議、暴動、ハッキング、コンピューターウィルスの侵入、通商停止、物資及び輸送施設の確保不能、または政府当局による介入、その他当社の合理的な支配の及ばない状況が発生した場合
- （2）故意及び過失の有無を問わず、第三者による侵害行為
- （3）利用企業または利用者の故意または過失に基づく行為

第 1 3 条（免責事項）

1. 当社は、本サービスを現状有姿で提供し、本契約に明示的に規定されている場合を除き、いかなる種類の結果の保証もしません。
2. 当社は、本サービスにより提供される情報、サービス、その他のアウトプットに基づいて、利用企業及び利用者、被保険者、第三者が下した判断及び行動した結

果について、一切の責任を負いません。

3. 当社は、被保険者の状態が改善する等、本サービスの効果一切について、その確実性を保証しません。
4. 当社は、本サービスの提供にあたり、不具合による欠陥、中断、中止、停止、変更、追加、終了が原因で、利用企業及び利用者が発生した損害に対し、一切の責任を負いません。
5. 当社は、サービスの提供にあたり、利用企業及び利用者との間で発生した紛争や損害に対し、一切の責任を負いません。
6. 当社は、利用企業及び利用者が本サービスの利用中に提供した情報についての対価を、いかなる場合も一切支払わないものとします。

第14条（秘密保持）

1. 本契約において、「秘密情報」とは、本サービスの提供に関連して、利用企業または利用者から当社に対して提供もしくは開示された、または知り得た、利用企業に関する技術、営業、業務、財務または組織に関する情報のうち、秘密である旨が明示された情報をいいます。ただし、以下の情報については、秘密情報から除外します。
 - （1）利用企業または利用者から提供、開示され、または当社が知得したときに、既に公知の情報、または開示後開示を受けた当事者によらずして公知となった情報
 - （2）当社が提供または開示の権限がある第三者から秘密保持義務を負うことなく正当に入手した情報
 - （3）当社が利用企業または利用者から開示されたときに、既に保有している情報
 - （4）当社が利用企業または利用者から開示された情報によらずして、独自に開発したもの
 - （5）利用企業または利用者が第三者に対し、秘密保持義務を課すことなく開示した情報
 - （6）法律の強制力を伴い裁判所または管轄官公庁により開示を要請された情報

2. 当社は、秘密情報を本サービス提供の目的のみに利用し、利用企業の明示または黙示の承諾なしに第三者に利用企業の秘密情報を提供、開示または漏洩しないものとします。ただし、本規約第7条に定める委託に基づく場合には、合理的に必要な範囲で、委託先に開示を行うものとします。

第15条（利用企業の名称等の利用）

1. 当社は、利用企業及び利用者よりご提供いただいた情報を元に、特定の利用企業との対応関係を排斥して統計情報の作成を行い、レポートの作成、対外的な発表を行うことができるものとします。
2. 当社は、販売促進資料、説明資料及び自己のWebページ等で本サービスの使用例を開示する場合、並びに学術誌及び学会等における学術発表を行う場合には、利用企業の名称、商標及びロゴ等を利用することができるものとし、かかる権利を利用企業より付与されるものとします。
3. 当社は、利用企業の名称、商標及びロゴ等を利用する場合は、事前に利用企業の承諾を得ることとし、利用企業の名称、商標及びロゴ等の利用について、利用企業のガイドラインに基づいて利用するものとします。

第16条（損害賠償責任）

当社は、本サービスの提供に関して、何らかの理由により責任を負う場合であっても、その賠償責任は、利用企業に現実かつ直接発生した損害に限られ、かつ連携対象ソフトウェアの使用権1本につき1万円を超えて賠償する責任を負わないものとします。また、付随的損害、間接損害、特別損害、将来の損害及び逸失利益にかかる損害については、賠償する責任を負わないものとします。

第17条（禁止事項）

1. 利用企業及び利用者は、本サービスの利用にあたり、以下の行為をしてはならないものとします。
 - (1) 法令または公序良俗に違反する行為
 - (2) 犯罪行為に関連する行為

- (3) 当社のサーバーまたはネットワークの機能を破壊したり、妨害したりする行為
- (4) 当社のサービスの運営を妨害するおそれのある行為
- (5) 他の利用者または被保険者に関する個人情報等を収集または蓄積する行為
- (6) 他の利用者に成りすます行為
- (7) 当社のサービスに関連して、反社会的勢力に対して直接または間接に利益を供与する行為
- (8) 当社、本サービスの他の利用者、被保険者または第三者の知的財産権、肖像権、プライバシー、名誉その他の権利または利益を侵害する行為
- (9) 本サービスの一部または全部をリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブラ、その他本サービスを解析する行為、またはその行為に協力する行為
- (10) 本規約のいずれかの条項に違反する行為
- (11) その他、当社が合理的な理由に基づいて、不適切と判断する行為

2. 当社は、利用企業または利用者が本条第1項に違反している場合、何らの通知を行うことなく、以下の措置を行うことができるものとします。この場合、以下の措置によって、利用企業及び利用者が発生した損害に対し、一切の責任を負いません。

- (1) 本サービスの提供停止
- (2) 利用契約の解除
- (3) 利用企業及び利用者に対する当社に生じた損害の賠償請求
- (4) その他、当社が合理的な理由に基づいて、必要だと判断する措置

第18条（本サービス利用に関する利用企業及び利用者の責任）

- 1. 利用企業は、本サービスの利用に関して、利用者に関わる全ての責任を負うものとします。
- 2. 利用企業または利用者が、本サービスの利用に関して、利用企業または利用者の責に帰すべき事由により、当社に損害を与えた場合、利用企業は当社が被った損

害を賠償するものとします。

3. 利用企業または利用者が、本サービスの利用に関して、他の利用企業もしくは利用者、被保険者、第三者に損害を与えた場合、または紛争を生じさせた場合、利用企業は自己の責任と費用でこれを解決し、当社にいかなる責任も負担させないものとします。
4. 利用企業または利用者が、本サービスの利用に関して、他の利用企業もしくは利用者、被保険者、第三者に損害を与えた、または紛争を生じさせた結果、当社が責任を追及された場合は、利用企業はその責任と費用において、当該損害の賠償、紛争を解決するものとし、当社を一切免責するものとします。
5. 利用企業または利用者が、本規約第17条第1項に定める禁止事項に違反することにより、利用企業もしくは利用者、被保険者、第三者に損害を発生させた場合、当社は一切の責任を負わないものとします。
6. 本条第1項から第5項の規定にかかわらず、当社は、利用者の責に帰すべき事由により発生した損害等については、当社の判断により、当該利用者に対して直接損害賠償や損失補償を求めることができるものとします。

第19条（利用料金及び支払方法）

1. 本サービスは連携対象ソフトウェアの機能の一部として附随提供されるサービスであり、エヌ・デーソフトウェア株式会社より連携対象ソフトウェアの使用権が許諾された利用企業及び利用者は、連携対象ソフトウェアのライセンス料をライセンス購入先に支払うことを条件に、別途の対価を支払うことなく、本サービスを利用することができます。
2. 当社は、利用企業が連携対象ソフトウェアのライセンス料を適切に支払わず、エヌ・デーソフトウェア株式会社から利用企業に対する本サービス提供の中止依頼が当社にあった場合には、本サービス提供の停止、または利用契約の解除をすることができます。

第20条（本サービスの停止、中止）

1. 利用企業及び利用者は、以下の事態が発生した場合には、当社が利用企業または利用者に事前の通知を行うことにより、または緊急を要する場合は事前の通知を行うことなく、本サービスの全部、または一部を停止、または中止することをあ

らかじめ承諾するものとします。

(1) 当社の設備、契約しているクラウドサービス (IaaS、PaaS、SaaS)、その他サービスを提供する為に必要なシステムの保守、点検、更新を定期的または緊急に行う場合

(2) 火災、停電、天災、戦争、テロ、疫病、労働争議、暴動、ハッキング、コンピューターウィルスの侵入、その他不可抗力、または第三者による妨害等、その他非常事態が発生し、または発生する恐れがあり、本サービスの提供が困難な場合

(3) 本サービスの運用上または技術上の理由により、本サービスの停止または中止が必要と当社が判断した場合

2. 当社は、本条第1項により本サービスの全部または一部が停止または中止された場合、利用企業及び利用者、被保険者、第三者に対して、一切の責任を負わないものとします。

第21条（本サービスの変更、追加、終了）

1. 利用企業及び利用者は、当社が利用企業及び利用者に事前の通知をすることなく、本サービスの全部または一部の変更、または追加を行うことをあらかじめ承諾するものとします。

2. 利用企業及び利用者は、当社が利用企業に対し、事前に通知をした上で、本サービスの全部または一部を終了することがあることをあらかじめ承諾するものとします。

3. 当社は、本条第1項または第2項により本サービスが変更、追加または終了された場合、利用企業及び利用者、被保険者、第三者に対して、一切の責任を負わないものとします。

第22条（解除）

当社は、以下のいずれかに該当する場合、利用企業に催告することなく、利用契約を即時解除できるものとします。

(1) 利用企業または利用者が、本規約に反する行為をしたとき

- (2) 利用企業が、破産手続き、会社整理手続き、民事再生手続き、会社更生手続きの申し立てを受け、もしくは申し立てをしたとき
- (3) 利用企業が、連携対象ソフトウェアのライセンス料を適切に支払わず、エヌ・デーソフトウェア株式会社から利用企業に対する本サービス提供の中止依頼が当社にあったとき
- (4) 利用企業が、差押え、仮差押え若しくは競売の申立を受け、または公租公課の滞納処分を受けたとき
- (5) 利用企業が、自ら振り出した手形または小切手につき、不渡りの処分を受けたとき
- (6) 利用企業が、監督官庁から営業許可の取消、停止等の処分を受けたとき
- (7) 利用企業が、解散、減資、営業の全部または重要な一部の譲渡等の決議をしたとき
- (8) 事由の如何を問わず、当社が本サービスの利用を停止、または終了したとき
- (9) その他当社が利用企業または利用者による本サービス利用の継続が不適当と判断するとき

第23条（反社会的勢力との取引排除）

1. 利用企業は、自己及び自己の役員、株主、従業員、利用者が、現在及び将来にわたって、次に定める事項を遵守することを表明し保証します。
 - (1) 暴力団、暴力団関係企業もしくはこれらに準ずる者またはそれらの構成員（以下、総称して「反社会的勢力」といいます。）でないこと
 - (2) 反社会的勢力を利用しないこと
 - (3) 反社会的勢力に資金等の提供、便宜の供給等、反社会的勢力の維持運営に協力または関与しないこと
 - (4) 反社会的勢力と資本関係または取引関係を有しないこと
2. 利用企業は、自己及び自己の役員、株主、従業員、利用者が、自らまたは第三者を利用して、以下のいずれの行為も当社に対して行わないことを表明し保証します。

- (1) 暴力的行為、脅迫的行為、詐術
 - (2) 法的な責任を超えた不当な要求
 - (3) 当社の名誉や信用を毀損する行為
 - (4) 当社の業務を妨害する行為
3. 当社は、利用企業が本条第1項または第2項に違反したと認める場合には、通知、催告その他の手続を要しないで、直ちに本契約を解除することができるものとします。この場合、利用企業は当社に発生した全ての損害を賠償するものとします。また、利用企業は契約解除により生じた損害の賠償を当社に請求できないものとします。

第24条（利用契約終了後の措置）

- 1. 当社は、利用企業との利用契約が終了した後は、当該利用企業及び利用者に対し、利用契約に係るサポートの提供、その他サービスに関する一切の責任を負わないものとします。
- 2. 当社は、利用企業が本サービス利用中に登録した一切の情報について、利用契約終了後はその保管の義務を負わないものとします。

第25条（知的財産権の帰属）

- 1. 本サービスの提供に必要な機能や、提供する文章、画像、プログラム、データ等のコンテンツについての一切の権利（著作権、特許権、商標、意匠権等の知的財産権、所有権、肖像権、パブリシティー権等）は、当社または当該権利を有する第三者に帰属するものとします。
- 2. 利用企業、利用者、被保険者及びその他被保険者の介護に関わる者は、本サービスで提供される帳票データを自己利用する場合等、本サービスにおいて明示的に許諾されている場合は本条第1項に掲げる権利を利用することができますが、本規約はこれらの者に対する権利譲渡や、本サービスにおいて明示的に許諾される範囲を超えた権利の利用許諾をするものではありません。

第 2 6 条（譲渡禁止）

利用企業及び利用者は、利用契約に基づく権利義務、または利用契約上の地位を第三者に譲渡、貸与、担保権の設定その他一切の処分を行ってはならないものとします。

第 2 7 条（存続条項）

第 8 条（アクセス資格の管理）第 5 項、第 1 0 条（被保険者に関する個人情報の取得と利用目的）第 3 項、第 1 2 条（情報に関する当社の責任）、第 1 3 条（免責事項）、第 1 5 条（利用企業の名称等の利用）、第 1 6 条（損害賠償責任）、第 1 8 条（本サービス利用に関する利用企業及び利用者の責任）、第 2 0 条（本サービスの停止、中止）第 2 項、第 2 1 条（本サービスの変更、追加、終了）第 3 項、第 2 4 条（利用契約終了後の措置）乃至第 2 6 条（譲渡禁止）、第 2 8 条（準拠法）、第 2 9 条（合意管轄）、第 3 0 条（雑則）、その他性質上本契約終了後も存続することが予定されている条項は、本契約終了後も有効に存続するものとします。

第 2 8 条（準拠法）

本規約は日本法に準拠するものとし、本規約は日本法に従って解釈されるものとします。

第 2 9 条（合意管轄）

本規約に関して生ずる紛争については、東京地方裁判所を第一審の専属管轄裁判所とします。

第 3 0 条（雑則）

本規約に基づき当社が免責されるべき事項については、エヌ・デーソフトウェア株式会社も同様にかかる事項から免責されるものとします。

以上